



わんぱく相撲世田谷大会会場で広報ブースを出展

東京地本世田谷募集案内所（所長 橋本克史3等陸佐）は、5月11日（日）世田谷区立総合運動場体育館で開催された「第38回わんぱく相撲世田谷区大会」において、広報ブースを出展し自衛隊をPRした。

本イベントは、わんぱく相撲世田谷区実行委員会等が主催するもので、毎年多くの家族連れが来場し、大盛況となるイベントである。

当日イベントブースは、自衛隊・消防等多数の団体が参加し、家族連れ等約2,000名が来場した。

東京地本の広報ブースでは、通信団の支援を受けた1/2tトラック、陸海空装備品パネル、戦闘糧食の展示、記念撮影用にミニ制服の試着を実施した。

また、東京地本のゆるキャラ「トウチくん」が登場すると「可愛い！」と声が上がりが、1日中子ども達からひっぱりだこであった。トウチくん効果もあり、広報ブースは、常に大盛況であった。

参加した子ども達からは、「ブルーインパルスのパイロットには、どうしたらなれますか。」「イービス艦と護衛艦ってどこが違うんですか。」などの質問が寄せられた。また、父兄の方からは「自衛隊にはどんな仕事がありますか。」などの質問があり、一つひとつ丁寧に答えると、「色々な仕事があつて、これなら自分にあつた仕事も必ずありますね。」などと理解をいただいた。ブースを後にする来場者から、「自衛隊さん、これからも頑張ってください。」との声もあり、自衛隊に対する期待や信頼、そして身近な存在に感じてくれていると実感する内容となった。

本イベントで、自衛隊広報ブースを目にした子どもたちが10年後、20年後に自衛隊を職業として選択してもらうことを期待するとともに、世田谷募集案内所は、今後も様々なイベントに参加し、募集広報を積極的に活動していく所存である。



『絶景空中散歩』～立川駐屯地体験搭乘～

東京地本（本部長 高田克樹陸将補）は、平成26年5月17日、立川駐屯地において、東部方面ヘリコプター隊第2飛行隊所属のUH-1J2機による体験搭乘を実施した。

今回は、平成26年度初の体験搭乘で、募集対象者等80名が参加した。当日は、天気にも恵まれ年に数回しかない程の絶好のフライト日和となった。受付を終えた参加者は、会議室で東京地本隊員による全般説明を受けた後、実際に搭乘するヘリコプターを前にして、パイロットによる安全教育を受けた。

UH-1Jによる体験搭乘は、約15分間のフライトであったが、都庁等の高層ビルや、スカイツリー、富士山が見える絶景続きの空中散歩となり、参加者はしきりにシャッターを切っていた。

また、フライトまでの間、陸上自衛隊及び海上自衛隊の制服試着、総合力演習等DVD上映など体験搭乘との相乗効果により効果的な広報を実施した。

フライトを終えた参加者からは、「富士山や、スカイツリーを見ることができとてもきれいだった。」「パイロットや整備員等様々な業種があり、自衛隊の仕事に興味を持った。」「自衛隊に入ってパイロットになりたい。」といった感想がよせられ、来場者の入隊意欲が伺えた。



本イベントを通じて、1人でも多くの青少年たちが、自衛隊に入隊することを期待するとともに、東京地本は、今後も自衛隊を理解してもらえるよう多くの機会を提供し、魅力ある広報を実施していく所存である。